

INFO-HIRO-21

第 476 号 2019 年 7 月 1 日
弘前大学総務部総務広報課

イベントのお知らせ

日本工学アカデミー北海道・東北支部講演会の開催について

この度、7月12日（金）に、弘前大学創立50周年記念会館岩木ホールにて下記の通り、日本工学アカデミー北海道・東北支部講演会を開催することとなりました。

多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

記

主催 日本工学アカデミー北海道・東北支部
共催 弘前大学大学院理工学研究科
日時 令和元年 7 月 12 日（金） 14：30～16：30
場所 弘前大学創立 50 周年記念会館 2 階 岩木ホール
（青森県弘前市文京町1番地）

<https://www.hirosaki-u.ac.jp/jimu/soumu/kaikan/access.html>

司会 弘前大学大学院理工学研究科 佐藤裕之 研究科長・教授

挨拶

14:30～14:40 日本工学アカデミー北海道・東北支部 宮城光信 支部長
14:40～14:50 弘前大学 吉澤 篤 理事・副学長

講演

14:50～15:40 講演 1
演題：「健康づくりを基点とした大学の地域貢献」
講師： 中路重之 氏（弘前大学大学院医学研究科社会医学講座特任教授
弘前大学COI拠点長・全体・研究統括(RL)）
15:40～16:05 講演 2
演題：「地域と再生可能エネルギー」
講師： 本田明弘 氏（弘前大学地域戦略研究所長・教授）
16:05～16:30 講演 3
演題：「弘前大学の地震防災研究」
講師： 片岡俊一 氏（弘前大学大学院理工学研究科副研究科長・教授）

事前の参加申し込みは不要です。

問合せ先：弘前大学理工学研究科 総務グループ

中川原淳子 nakagawara@hirosaki-u.ac.jp



令和元年度「第1回 生体応答科学研究セミナー」開催のお知らせ

保健学研究科では、フランスのカーン・ノルマンディ大学からシアマーク・ハグドゥースト教授をお招きし、標題のセミナーを開催いたします。

テーマは「放射線による健康影響の予測バイオマーカーを見出すために」です。

興味のある方はぜひお気軽にご参加ください。

*本講演はすべて英語で行われます。

【日 時】 令和元年 7月22日（月） 16:30～17:30

【会 場】 保健学研究科 F棟1階 大学院講義室1（弘前市本町66-1）

【テーマ】 Mechanistic study to find predictive biomarkers of radiation adverse health effects
（放射線による健康影響の予測バイオマーカーを見出すために）

【講 師】 Prof. Siamak Haghdoust, University of Caen Normandie, France
（カーン・ノルマンディ大学 教授 シアマーク・ハグドゥースト氏）

【対 象】 学部学生・大学院生・教職員 *申込不要

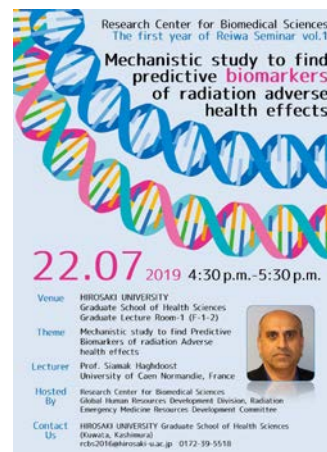
【共 催】 弘前大学大学院保健学研究科 生体応答科学研究センター
被ばく医療人材育成推進委員会 グローバル人材育成推進部門

【お問い合わせ】

弘前大学保健学研究科 総務グループ（担当：桑田、柏村）

〒036-8564 青森県弘前市本町66-1

TEL: 0172-39-5518（内線5517） E-mail: rcbs2016@hirosaki-u.ac.jp



弘前大学大学院人文社会科学部 大学院・入試説明会のお知らせ

（一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜、推薦特別選抜、協定校推薦特別選抜〈2020年度春季入学〉）

・日 時 2019年7月26日（金） 18:00～19:10

・会 場 人文社会科学部校舎4階 多目的ホール

・内 容

入試の説明のほか、研究科の概要説明、個別相談等を行います。

～プログラム～

1. 人文社会科学部研究科について
2. 入学試験（一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜、推薦特別選抜、協定校推薦特別選抜）について
3. 大学院生の声
4. 教員からのメッセージ
5. 院生室見学
6. 個別相談



・対象者

人文社会科学部研究科に興味のある方ならどなたでも参加可能です。

大学院を検討しているすべての学年の方、どうぞご参加ください。※事前の申込は不要です。

・問い合わせ先

弘前大学人文社会科学部 総務グループ教務担当

TEL：0172-39-3941 E-mail：jm3941@hirosaki-u.ac.jp

青森でつながる 一子どもの貧困をみんなで考えよう

子どもの貧困対策 全国47都道府県キャラバン in 青森 開催のお知らせ

1 企画の趣旨

今年発表された「青森県子どもの生活実態調査」の結果にも示される通り、青森県においても深刻な課題である「子どもの貧困」について知り、貧困の当事者である若者の声を聴きながら、どのような支援ができるのか、行政・学校関係者・学生・市民が立場を超えて語り合う場をつくっていきます。多くの教育関係者、福祉関係者、学生、地域支援者、県民の皆様のご参加を期待しています。

2 日時 令和元年7月28日（日）13：00～17：00

3 場所 リンクステーションホール青森 中会議室

4 プログラム

主催者挨拶 弘前大学「子どもの貧困」プロジェクト代表 吉田美穂
公益財団法人あすのば参与 柳瀬和夫

共催者挨拶 青森県健康福祉部長 有賀玲子

青森県子どもの生活実態調査報告 青森県健康福祉部こどもみらい課長 久保杉嘉衛

青森県教育委員会の取組 青森県教育庁学校教育課主任指導主事 三和明久

- パネルディスカッション「当事者の声を聴きながら一緒に考えよう」
コーディネーター 吉田美穂（弘前大学教職大学院准教授）
パネリスト 金澤拓紀（子ども・若者サポート「つがる・つながる」代表）
花澤昂乃（慶応義塾大学4年・あすのば若者理事）
平間恵美（特定非営利活動法人「はちのへ未来ネット」代表理事）
山田まり子（青森県スクールカウンセラー）

- 交流会 支援者・子ども・学生・学校関係者・自治体担当者・県民による意見交換
ファシリテーター 弘前大学教職大学院生ほか

5 対象 教育関係者、福祉関係者、地域支援者、学生、一般市民 150名 参加無料

6 申込方法 公益財団法人あすのばウェブサイト内の申込フォーム <https://www.usnova.org>
もしくは ☎ 03-6277-8199 FAX 03-6277-8519

✉ info@usnova.org のいずれでも可 詳細は、別添チラシ参照



- 6 主催 弘前大学「子どもの貧困」をめぐる
地域・学校・自治体の連携・協働推進プロジェクト
公益財団法人あすのば
- 7 共催 青森県
- 8 後援 内閣府、弘前大学教職大学院、青森県教育委員会、青森県社会福祉協議会、
青森市、青森市教育委員会、鱒ヶ沢町、今別町、田舎館村、板柳町、大鰐町、
大間町、おいらせ町、風間浦村、黒石市、五所川原市、五戸町、佐井村、三戸町、
七戸町、新郷村、外ヶ浜町、田子町、つがる市、鶴田町、十和田市、東北町、
中泊町、南部町、西目屋村、野辺地町、八戸市、階上町、弘前市、平川市、
平内町、東通村、深浦町、藤崎町、三沢市、むつ市、蓬田村、横浜町、六戸町、
六ヶ所村 ほか予定
- 9 助成 公益財団法人キリン福祉財団

ボルドー・モンテーニュ大学学長による学術講演会の開催について

このたび、弘前大学創立70周年を記念して、大学間交流協定校のボルドー・モンテーニュ大学から、Hélène VELASCO・GRACIET（エレーヌ ヴェラスコ・グラシエ）学長をお招きして、下記のとおり学術講演会を開催いたします。（講演はフランス語で行われますが、日本語の解説があります。）

どなたでも参加できますので、多くの皆さまの参加をお待ちしております。（※要申し込み）

記

日 時：2019年8月1日（木）11:00～12:00

会 場：弘前大学創立50周年記念会館 みちのくホール

講 師：ボルドー・モンテーニュ大学学長

Hélène VELASCO・GRACIET（エレーヌ ヴェラスコ・グラシエ）氏

演 題：「ワインの新しい世界」

対 象：一般の方、教職員、学生

入場料：無料

申 込：団体名・所属・役職・氏名を記載の上、FAXまたはEメールで申込みください。

申込締切：2019年7月26日（金）

【申込先】 弘前大学国際連携本部

FAX：0172-39-3133 E-mail：jm2014@hirosaki-u.ac.jp

【問合せ先】 TEL：0172-39-3114

特別講演会「柔らかなロボットと超スマート社会」

一般社団法人 日本機械学会 ロボティクス・メカトロニクス部門第1地区技術委員会

URL <http://sites.google.com/site/robomech02/>

企画 ロボティクス・メカトロニクス部門

共催 弘前大学大学院理工学研究科

弘前大学大学院理工学研究科附属医用システム創造フロンティア

開催日 2019年8月23日（金） 15:00～17:00

弘前大学創立70周年記念事業
学術講演会

ワインの新しい世界

講師
ボルドー・モンテーニュ大学学長
Hélène VELASCO・GRACIET 氏

2019年
8月1日 (木) 11:00～12:00

弘前大学創立50周年記念会館
みちのくホール

◆ 講演はフランス語で行われます。（日本語解説付き）

「講演方法・申込先」
一般の方、教職員、学生、ご来校でご参加いただけます。
団体名・所属・役職・氏名を記載の上、以下FAXまたはEメールで申し込みください（※要申し込み）
申込先：弘前大学国際連携本部
FAX：0172-39-3133
E-mail：jm2014@hirosaki-u.ac.jp

「問い合わせ先」
弘前大学国際連携本部
TEL：0172-39-3114
FAX：0172-39-3133
E-mail：jm2014@hirosaki-u.ac.jp

会場 弘前大学理工学部1号館4階 第8講義室（青森県弘前市文京町3）
<http://www.st.hirosaki-u.ac.jp/info/access.html>

プログラム

(1) 15:00～16:00

「人の筋骨格から考えるソフトロボティクス」

講師：大日方 五郎（中部大学工学部ロボット理工学科教授）

人の体は、厳密な意味では剛体リンク系として表すことはできない。いろいろな所に柔らかさを持っているからである。人の体の持つ柔らかさをまねすることができれば、ロボットに作り上げ、今までの剛体リンク系のロボットより人の動作に近いものが実現できるのではないかと考えられる。これは、近年盛んに研究されるようになった「ソフトロボティクス」の動機の一つである。本講演では、人の柔らかさはその組織だけではなく、骨格系の運動自由度の多さからも生み出されていることを指摘し、そこから生まれる「ソフトロボット」設計のポイントを解説する。

(2) 16:00～17:00

「超スマート社会構築に必要なテクノロジーについて」

講師：長縄 明大（秋田大学大学院理工学研究科システムデザイン工学専攻教授）

「必要なものが、必要なときに、必要なだけ手に入り、誰もが活き活きと快適に暮らせる社会」、これが超スマート社会です。超スマート社会は、5つ目の社会Society 5.0に位置付けられており、日本が目指す未来の社会像です。本講演では、この超スマート社会の概要や、それを構築していくための技術であるICTやIoT、AI、ビッグデータなどについて概説します。また、2015年9月に国連サミットで採択された持続可能な開発目標(SDGs)と最新テクノロジーとの関わりなどについても概説します。

参加費 無料

申込方法 申し込みは不要です。当日お気軽にお越しください。

問合わせ先 佐川貢一 / 電話(0172)39-3691 / Email: sagawa@hirosaki-u.ac.jp

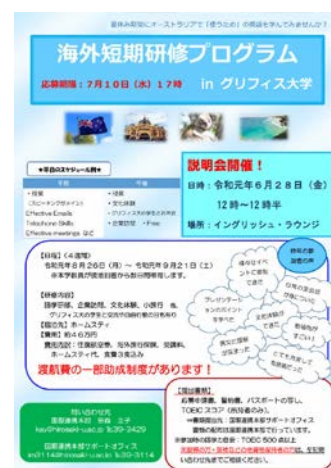
オーストラリア海外短期研修プログラム 参加学生募集のお知らせ

本プログラムは弘前大学生のために特別に組まれたプログラムで、語学研修のほか、現地学生との交流や、小旅行など、とても魅力的なプログラムになっています。自由行動の日もありますので、自身の興味関心に沿って、観光したり、見学したりすることができます。

研修期間は、令和元年8月26日から9月21日の4週間です。担当教員が一部期間帯同しますので、海外経験が無い方でも安心して参加できます。

本学の学生であれば、学部生でも、大学院生でも参加可能です。また、渡航費の一部助成もありますので、興味のある方は是非ご参加ください。

令和元年6月28日（金）に説明会を開催します。プログラムおよび説明会詳細はチラシをご覧ください。



第98回日本消化器内視鏡学会総会 市民公開講座

「短命県返上へ！おなかのがんから身を守る」の開催のお知らせ

第98回日本消化器内視鏡学会総会において、市民公開講座「短命県返上へ！おなかのがんから身を守る」を開催いたします。

1. 日時 令和元年9月22日（日）14：00～17：00
2. 場所 ホテルニューキャッスル2F「曙」
〒036-8354 青森県弘前市上鞆師町24-1
3. 内容 講演1 これからの内視鏡医療
～内視鏡はどこまで進化しているのか～

講演2 食道がん、胃がんの内視鏡診断・治療の最先端
講演3 増え続ける大腸がんから身を守るために
4. 参加費 無料
5. 事前申込 不要
6. 定員 先着250名 （一部のみ参加でもOK）
7. 主催 JDDW2019 第98回日本消化器内視鏡学会総会
8. 共催 弘前大学大学院医学研究科消化器血液内科学講座
9. 問い合わせ先 弘前大学大学院医学研究科消化器血液内科学講座内
第98回日本消化器内視鏡学会総会事務局
TEL:0172-39-5053



「弘大じょっぱり起業家塾2019」開講のお知らせ

～「地域ビジネス論」（基礎コース・実践コース共通科目）受講生募集～（再掲）

1. 概要

弘前大学では、6月より、食と観光分野に関わる次世代経営者、マネージャー、自治体職員、そして将来地域で活躍したいと考えている学生を対象に「弘大じょっぱり起業家塾2019」を開講します。この講座は、起業に関する基礎的な知識を学ぶだけでなく、地域ビジネスに関わる経営学のセオリー、起業家の講演から学ぶ事例研究、事業計画の策定演習などを通じて、柔軟な発想力や高い企画提案力を身につけることを狙いとしています。これを通じて、起業家マインドを持つ地域で活躍できる人材を育成し、次世代経営者や自治体職員、学生を支援します。

この度、基礎コースと実践コースの共通科目である「地域ビジネス論」を開講することとなりましたのでお知らせします。ご関心のある方の受講をお待ちしております。



2. 実施内容・実施日程

【地域ビジネス論（基礎コース・実践コース共通科目）】

【特徴】顧客のニーズ、自らの事業の優位性や競合他社の状況など、地域ビジネスをはじめめるにあたって必要な視点、マーケティングを意識した事業計画、さらには先進事例から読み解く成功のポイントなどを学び、地域ビジネスの基本的な考え方を理解します。

実施日時	講義内容	講師
6月28日（金）	開講式	
18:00～18:20	第1回講義	紺野純一氏（一般社団法人 東北観光推進機構 専務理事 推進本部長）
18:30～19:30	東北の観光を盛り上げる取組	

7月12日（金）1 8:00～18:50 19:00～19:50	第2回講義 起業のための基礎	海江田毅氏（株式会社日本政策金融公庫 弘前支店長）
	第3回講義 地域から起こすイノベーション	熊田憲氏（弘前大学人文社会科学部 准教授）
8月23日（金）1 8:00～18:50 19:00～19:50	第4回講義 マーケティング志向の事業計画	熊谷淳一氏（株式会社ノイ 代表取締役）
	第5回講義 ストリートダンスで地域を元気に	岩渕伸雄氏（Funky Stadium 代表）
8月30日（金）1 8:00～18:50 19:00～19:50	第6回講義 ご当地アイドルで地域の魅力を発信	樋川新一氏（有限会社リングミュージック 代表）
	第7回講義 起業家の考え方	高島克史氏（弘前大学人文社会科学部 准教授）

3. 募集の概要（定員：20名程度）
 受講対象者は、食と観光分野に関わる次世代経営者、マネージャー、自治体職員、将来地域で活躍したいと考えている社会人・学生となります。
 ※今回は基礎コースおよび実践コースの共通科目である「地域ビジネス論」の募集となります（演習科目（9月～）については後日募集予定）

4. 受講料
 無料

5. 開講場所
 弘前大学文京町キャンパス（弘前市文京町1番地）

実施日時	会 場
6月28日（金）18:00～18:20	弘前大学総合教育棟2階 大会議室
6月28日（金）18:30～19:30	弘前大学総合教育棟3階 310講義室
7月12日（金）18:00～19:50	弘前大学創立50周年記念会館2階 会議室2
8月23日（金）18:00～19:50	弘前大学創立50周年記念会館2階 会議室2
8月30日（金）18:00～19:50	弘前大学創立50周年記念会館2階 岩木ホール

6. 受講申込
 事前申込制
 ※受講を希望される場合は、氏名・所属・役職・電話番号・メールアドレスを記載のうえ、FAXまたはEメール等でお申込みください。

7. お申し込み先
 国立大学法人弘前大学社会連携部 弘大じょっぱり起業家塾事務局
 〒036-8560 青森県弘前市文京町1
 TEL：0172-39-3978, FAX：0172-39-3189
 Mail：sjinzai@hirosaki-u.ac.jp

8. 主催：弘前大学
 後援：青森経済同友会、弘前商工会議所

「2019年度 看護教員・看護職のための放射線教育研修会」開催のお知らせ（再掲）

本研修会は、平成28年度に文部科学省の「機関横断的な人材育成事業」に3年計画で採択された公益社団法人日本アイソトープ協会の「看護職の原子力・放射線教育トレーナーズトレーニング」の後継企画であり、看護教育に関わる教員もしくは医療機関において患者さんや原子力・放射線災害時の被災者の方々と最も身近に関わる看護師の皆さまに放射線の知識・技術を深めていただくことを目的として開催するものです。

講義とともに放射線測定器による計測や移動型エックス線撮影装置による被ばく線量を測定などの演習を行い、放射線を身近に分りやすく理解できるようにしています。

【開催日】2019年7月6日（土），7日（日）

【場 所】弘前大学大学院保健学研究科（青森県弘前市本町66番地1）

【対 象】看護教育に関わる教育機関の先生方、看護職の方（先着20名）
※申込先着順で定員に達し次第、申し込み受付終了とさせていただきます。

【プログラム】1日目：13時00分～18時00分（会場・受付開始／13：00）

＜講 義＞①原子力・放射線利用の概要および放射線の基礎
②放射線による健康影響とリスク
③放射線利用における看護職の役割

2日目：8時30分～13時00分

＜実 習＞①自然放射線の理解
放射線測定器を用いた放射線の計測と霧箱による放射線の観察
②外部被ばくに対する防護方策
放射線防護の基本となる事項（時間、遮蔽、距離）
③移動型エックス線撮影装置の利用時の防護方策
撮影現場における線量の把握

注）予定時間より延びることがあります。あらかじめご了承ください。

【受講料】無料（別途：テキストの購入が必要となります。）

【使用テキスト】「看護と放射線ー放射線を正しく理解するー」

（日本アイソトープ刊行／定価1,800+税）

各自事前購入のうえ研修会当日にお持ちください。

※日本アイソトープ協会会員の方は協会から直接ご購入の場合、会員割引価格でご購入いただけます。詳しくは日本アイソトープ協会ホームページをご確認ください。

【申込方法】Eメールによる事前申し込みとなります。

下記特設ページの弘前開催申込みからお申し込み手続きを行ってください。

なお、募集定員に達し次第、申し込み受付を締め切らせていただきますので、あらかじめご了承ください。

【看護教員・看護職のための放射線教育研修会】

https://www.hs.hirosaki-u.ac.jp/hibakupj/supportcenter_c.html

【主 催】弘前大学大学院保健学研究科 放射線看護教育支援センター

【協 賛】公益社団法人日本アイソトープ協会



【その他】・本研修の修了者には、受講後に修了証をお渡しします。

- ・本研修会は、日本IVR学会・日本心血管インターベンション治療学会合同認定インターベンションエキスパートナース（INE）更新単位取得の対象として認定されています（5単位）。

【お問い合わせ先】 弘前大学大学院保健学研究科 総務グループ（担当：柏村）
電話：0172-39-5518 E-mail：hiro.rns@hirosaki-u.ac.jp

附属図書館データベース講習会「すぐに役立つ情報探索セミナー」開催のお知らせ（再掲）

附属図書館が整備導入している専門情報誌のデータベース「日経BP記事検索サービス」の講習会を開催します。講師は外部から招いた専門家ですので、分かりやすく実践的な講習内容となっております。この機会に是非ご参加ください。

対象者：本学の学生及び教職員（事前申込不要）※実際にPCを操作しながら学べます

データベース名	講 師	日 時	実施会場
日経BP記事検索サービス (雑誌記事データベース)	(株) 日経BPマーケティング 阿波 洋輔 氏	7月11日(木) 14:20～15:50	総合教育棟 2F 情報処理演習室



問い合わせ先：附属図書館資料管理グループ雑誌情報担当
Tel (内)3157 / E-mail jm3157@hirosaki-u.ac.jp

津軽における寺院資料の世界－深浦円覚寺の古典籍を基点として－開催のお知らせ（再掲）

弘前の寺院や歴史を、新たな視点から学んでみませんか？

近世の津軽と深浦との関係を絵図や古文書からひもときます。また深浦円覚寺古典籍調査で発見された資料から、津軽の寺院と歴史や、津軽の「知のネットワーク」を考えます。さらに名古屋大学の阿部泰郎先生に、地方における寺院資料の意義についてご講演いただきます。弘前・津軽の寺院や歴史に関する、近年の調査研究による新情報を満載したフォーラムです。

日時：2019年7月13日（土）13：00～16：30（開場12：30）

※入場無料 事前申込不要

場所：弘前大学コラボ弘大8階 八甲田ホール（定員100名）

主なプログラム：

- 【特別講演】地方寺院資料が照らし出す中世宗教の世界像
－聖教調査とアーカイブス化の意義とは何か－
名古屋大学 高等研究院 教授 阿部 泰郎 先生



主催：深浦町 弘前大学 深浦町教育委員会
弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター
後援：弘前市 東奥日報社 陸奥新報社
公益財団法人青森学術文化振興財団の助成を受けています。

問い合わせ：弘前大学人文社会科学部総務グループ 担当：富士
〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地
電話：0172-39-3192 メール：jm3192@hirosaki-u.ac.jp

「令和元年度弘前大学被ばく医療プロフェッショナル修了後研修」講演会開催のお知らせ（再掲）

本学では平成22年度から、被ばく医療に即応可能な人材育成プログラム「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」の実施と体制整備に取り組んでおり、その一環として、このたび標題の講演会を下記のとおり開催いたします。

放射線健康管理に関する福島の実状、被災者や地域の方々のニーズの多様化やその中で求められる支援のあり方、放射線の健康影響など、被ばく医療に関する知見を深める良い機会となっておりますので、興味のある方はお気軽にご参加ください。

【開催日】 令和元年7月19日（金） 14:00～15:05

【開催場所】 保健学研究科F棟1階 大学院講義室1（弘前市本町66-1）

【タイトル】 「東京電力福島第一原子力発電所事故による
放射線に係る住民の健康管理・健康不安対策について」

【講師】 笠松 淳也 氏
（環境省大臣官房環境保健部放射線健康管理担当参事官）

【対象】 学生・教職員どなたでも（申し込み不要）

【共催】 弘前大学大学院保健学研究科被ばく医療人材育成推進委員会
放射線リスクコミュニケーション教育部門
弘前大学被ばく医療総合研究所

◎お問い合わせ先

弘前大学保健学研究科 総務グループ 桑田

e-mail：kuwata@hirosaki-u.ac.jp Tel：0172-39-5518 Fax：0172-39-5912

2019年度「化学への招待」弘前大学一日体験化学教室開催のお知らせ（再掲）

主催 日本化学会東北支部 弘前大学大学院理工学研究科
後援 弘前市教育委員会 青森県教育委員会、東北ポリマー懇話会
弘化会

会期：8月9日（金）10:00～16:30

会場：弘前大学理工学部・教育学部・農学生命科学部
（弘前市文京町3および1）

「令和元年度弘前大学
被ばく医療プロフェッショナル
修了後研修」講演会

「東京電力福島第一原子力発電所事故による
放射線に係る住民の健康管理・健康不安対策について」

講師：笠松 淳也 氏
環境省大臣官房環境保健部放射線健康管理担当参事官

日時：令和元年7月19日（金）
14:00～15:05

会場：保健学研究科F棟1階
【大学院講義室1】

対象：学生・教職員どなたでも。事前申込不要

共催：弘前大学大学院保健学研究科被ばく医療人材育成推進委員会
放射線リスクコミュニケーション教育部門
弘前大学被ばく医療総合研究所

お問い合わせ：保健学研究科 桑田 TEL 0172-39-5518 kuwata@hirosaki-u.ac.jp

[交通] J R「弘前」駅前3番バス乗り場で弘南バス「小栗山」または「学園町」行に乗車して「弘前大学前」下車

参加申込締切：7月5日(金)

午前中は講演、午後はA～Hに分かれて化学実験を体験。

1. 講演「金属触媒でつくる新しい高分子」(理工学研究科)竹内大介

2. 実験

- A)「果物のにおいを作る」・「ルミノールを用いた発光反応」(理工学研究科)川上 淳
B)「色で測る！！-ドリンク剤中の鉄の定量-」(理工学研究科)糠塚いそし
北川文彦・野田香織
C)「バイオ光化学電池」・「色が変わる無機高分子」(理工学研究科)阿部敏之
D)「プラスチックの性質を探ろう」(教育学研究科)長南幸安
E)「コンピュータの中で分子をつくる」(理工学研究科)山崎祥平
F)「酸素を吸う錯体の最高」(理工学研究科)宮本 量
G)「色付きガラスをつくってみよう」(理学研究科)増野敦信
H)「進撃の大腸菌！！DNA抽出実験+VRで見る！光るタンパク質の正体」(農学生命科学部)栗田大輔

■対象：高校生(中学生・一般も可)定員60名

■参加費：無料

■参加申込方法 専用フォーム

(<http://www.st.hirosaki-u.ac.jp/form-chemistry2019.html>)

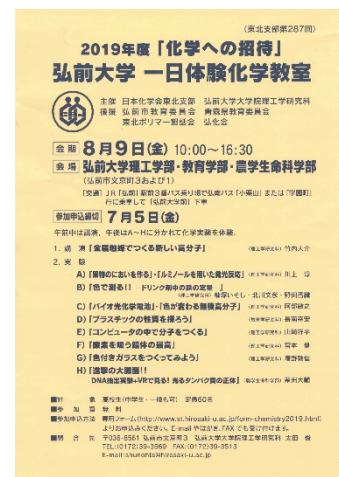
よりお申込みください。E-mailやはがき、FAXでも受け付けます。

■問合先 〒036-8561弘前市文京町3 弘前大学大学院理工学研究科

太田 俊

TEL:(0172)39-3569 FAX:(0172)39-3513

E-mail:shunohota@hirosaki-u.ac.jp



令和元年度「みんなで知ろう！がんフェスティバル ～これが“わたし”～」開催のお知らせ(再掲)

弘前大学医学部附属病院が主催で、一般市民を対象に令和元年度「みんなで知ろう！がんフェスティバル ～これが“わたし”～」を開催いたします。

がん患者やその家族の視点に立った情報提供を推進するとともに、がんになってもそれと共生できる社会の構築を目指し、正しいがんの情報を提供いたします。

1. 日 時： 令和元年8月18日(日) 12:00～16:00

2. 場 所： 土手町コミュニティパーク多目的ホールA/B ポム広場
〒036-8182 青森県弘前市土手町31番地

3. 内 容 : プチセミナー
 がんところ・食欲がない時の食事の工夫・在宅療養を支える訪問
 看護ステーションの紹介・治療にかかるお金のはなしほか
 アトラクション
 弾き語りほか
 ブース
 各患者団体・企業・医療相談
 体験
 白衣体験・乳がんモデル・人体模型・超音波機器
4. 対 象 : 一般市民
5. 入 場 料 : 無料
6. 事前申込 : 不要
7. 問い合わせ先 : 弘前大学医学部附属病院がん相談支援センター
 TEL : 0172-39-5174 (直通)

「令和元年度 被ばく医療研修」開催のお知らせ(再掲)

大学院保健学研究科では、本学が掲げる「放射線科学及び被ばく医療における安心・安全を確保するための国際的な教育研究の推進」の一環として「被ばく医療人材育成推進プロジェクト」を展開しており、平成22年度からスタートした看護師と診療放射線技師を対象とした緊急被ばく医療短期教育プログラム「被ばく医療研修(旧名称・現職者研修)」の開催も今年で10回目となります。被ばく医療や放射線に関する知識の習得、他職種との協働を目的とした講義・演習に加え、2日目の演習では実際の被ばく事故を想定したシミュレーションを本番さながらの緊張感をもって実施いたします。

本研修は入門的内容となっておりますので、初めて被ばく医療を学ぶ方、放射線の基礎知識の習得や復習をお考えの方、また、他職種とのチーム連携や教育ネットワーク作りに興味のある方にも大変お勧めです。どうぞお気軽にご参加ください。



- 【募集コース】 看護職コース / 診療放射線技師コース
 【開催期間】 令和元年 8月31日(土)～9月1日(日)
 【開催場所】 弘前大学大学院保健学研究科(弘前市本町66-1)

【対象者及び募集人数】 看護職者及び診療放射線技師 合わせて15名

【プログラム】 詳細は事業ウェブサイトに掲載されているプログラムをご覧ください。

被ばく医療人材育成推進プロジェクト ホームページ
 (URL) <https://www.hs.hirosaki-u.ac.jp/hibakupj/>

- 【受講料】 無料
 【申込方法】 Eメールによる事前申し込みとなります。
 上述サイトの特設ページからお申し込み手続きを行ってください。

【締め切り】 令和元年7月15日(月・祝) ※先着優先・定員に達し次第締め切り

【そ の 他】

- ・その他、詳細についてはホームページをご覧ください。
- ・本研修は原子力規制庁が実施する「原子力災害時医療中核人材研修」とは異なりますのでご注意ください。

◎お問い合わせ先

弘前大学保健学研究科 総務グループ 桑田

e-mail : hh_hh@hirosaki-u.ac.jp Tel : 0172-39-5518 Fax : 0172-39-5912

弘前大学資料館第22回企画展について（再掲）

弘前大学資料館では第22回企画展「“装う” アフリカ ―世界と交錯のなかで―」を6月1日より7月20日まで開催いたします。

アフリカの人たちのオシャレやアートは、世界との交錯のなかで、自由に花開いてきました。古代から交易・交流をとおしたヨーロッパやイスラーム世界とのつながりが、また近年では急速にすすむグローバル化の影響が、装いの端々に現れています。他地域のモノや流行を取り込みながら、自在にかつ創造的に生み出される装いは、「閉じている」「伝統に固執している」イメージとはかけ離れています。

この展示では、そんなアフリカの生活や文化の魅力を紹介します。

みなさまのご来館をお待ちしております。

○弘前大学資料館第22回企画展

「“装う” アフリカ ―世界と交錯のなかで―」

会 期：2019年6月1日（土）～2019年7月20日（土）（日・祝・休日は休館）

時 間：10：00～16：00

場 所：弘前大学資料館

本件問い合わせ先

・弘前大学資料館 電話：0172-39-3432 E-mail : jm3432@hirosaki-u.ac.jp



平成31年度弘前大学大学院人文社会科学研究科 市民カレッジ受講生募集のお知らせ（再掲）

- ・受講資格 4年制大学を卒業した方
- ・受講料 1科目あたり11,500円
- ・青森教室の開講科目及び日時

	授業テーマ（科目名）	担当者	開講時間	申込締切日
後期	地域の経済と政策について考える（地域経済）	大橋忠宏 細矢浩志 金目哲郎 児山正史	10/ 5（土）8：30～15：50 10/12（土）8：30～15：50 11/ 2（土）10：20～15：50 11/ 9（土）10：20～17：30	9/27（金）
	具体的に哲学すること（倫理学）	横地徳広 原克昭	10/12（土）10：00～17：50 10/13（日）10：00～17：50 10/19（土）10：00～17：50 10/20（日）10：00～17：50	9/27（金）

・会場

弘前大学青森サテライト教室（〒030-0813青森市松原2-1-3 地域戦略研究所 北日本新エネルギー研究部門内／棟方志功記念館の隣）

・申込方法

問い合わせ先に連絡してください。受講申込書などをお送りします。

・青森教室のシラバス及び弘前教室の詳細は、人文社会科学部ホームページ（市民カレッジ）をご覧ください。

<http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/jinbun/web/daigakuin/sidenav/aomorisatellite.html>

・問い合わせ先

弘前大学人文社会科学部 総務グループ教務担当

TEL：0172-39-3941 E-mail：jm3941@hirosaki-u.ac.jp

**平成31年度弘前大学大学院
人文社会科学部市民カレッジ
受講生募集のお知らせ**

弘前大学大学院人文社会科学部は、地域社会の発展や国際社会の進化に対応できる高度専門職業人の養成を目指しています。社会人みなさん、人文社会科学部市民カレッジで学び直し、学び直しを始めてませんか？

【市民カレッジの特長】
○青森市内に弘前市内で大学院の授業科目を履修することができます。
○オンデマンドプログラムの履修になります。
○単位取得を目的とせず、知識・技能の習得を目的とする課程です。
○受講科目の修得は、大学院入学後、学位の申請に活用することができます。
○大学院の基礎的な科目（基礎科目・導入科目・特設講義）を受講できます。
○4年制大学卒業した方であれば、どこまでも受講できます。
○受講料は、1科目1,000円です（入学金・施設費は必要ありません）。

【青森教室の履修科目】
青森市内で、土曜（日曜）を中心とした集中講義の形で開講します。平成31年度は、以下の授業科目を開講します。
○「実用英語の基礎」(基礎英語)
○「歴史から見た経済発展」(経済発展)
○「東洋の経済と発展」(経済発展)
○「東洋の経済と発展」(経済発展)
○「東洋の経済と発展」(経済発展)

【弘前教室の履修科目】
弘前大学文庫町キャンパスで、通常の大学院の授業科目と同等に履修していただく形になります。
○「基礎科目・導入科目・特設講義」から受講できます。
○授業料と施設費、入学金の支払いも必要です。
※開講日程、会場、開講科目の詳細は、ホームページ「弘前大学大学院人文社会科学部市民カレッジ」(<http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/daigakuin/index.html>)をご覧ください。

【申し込み締切日】
各科目の締切日は要項をご覧ください。

【申し込み・問い合わせ先】
弘前大学人文社会科学部市民カレッジ
TEL 0172-39-3941 FAX 0172-39-3940 Mail jm3941@hirosaki-u.ac.jp

学 内 掲 示 板

弘前大学出版会から新刊のご案内

教育学部講師 蒔田 純 著「政治をいかに教えるか—知識と行動をつなぐ主権者教育—」
(A5判, 184頁, 定価1,728円：税込) を出版しました。

～紹介文～

「18歳以上」への選挙権年齢の引き下げを受け、子ども・若者に政治との関わり方を教える「主権者教育」が盛り上がりを見せています。

本書では、「学校で教えられる主権者教育」を中心に置きつつ、「公民教育」や「シティズンシップ教育」、「学校以外で教えられる主権者教育」等、周辺諸要素の関係性を整理し、そこから、主権者教育をより効果的に行うためのヒントを探ります。

これまでにない本書の特色は、中学・高校で実際に使われている教科書の内容や国内外の自治体で行われている具体的事例など、「現場のリアルな教育」に注目し、知識と行動をつなぐ観点から、子ども・若者に対して「政治をいかに教えるか」を実践的に考えることにあります。

現任教員、教員を目指す学生をはじめ、政治と教育に関わるすべての方に読んでいただきたい一冊です。

ご興味をお持ちの方は大学生協または最寄りの書店でお買い求め下さい。

学生特別支援室相談会開催のお知らせ

学生特別支援室は、障害等により修学や学生生活に困難のある学生からの相談に応じ、よりよい学生生活が送れるよう支援しています。

昨年に引き続き、障害等のある学生（疑いを含む）への支援について教職員と話し合う、または、相談し合うための機会として、2019年度前期は以下の日程で相談会を開催します。

障害等のある学生（疑いを含む）への支援に苦慮している、支援室スタッフに尋ねたいことがある、あるいは障害学生支援に関心がある教職員の参加をお待ちしています。



開催日： 2019年度前期（8月を除く）7月18日（木），9月19日（木）

時 間： 14：30 ～ 15：30 （時間内の出入りは自由です。）

会 場： 附属図書館3階 グループラーニングルーム

対 象： 本学の教職員

参加方法： 事前申込みは不要です。直接会場にお越しください。

参加スタッフ： 室長，コーディネーター，カウンセラー，支援室員等

問い合わせ先： 教育推進機構学生特別支援室

内 線：3266 E-mail：g-shien@hirosaki-u.ac.jp

弘前大学創立70周年記念事業について

弘前大学は昭和24（1949）年5月に新制大学として発足して以来，平成31（2019）年に創立70周年を迎えました。

創立70周年に際して，国際化や男女共同参画の推進，学生支援の充実など，主として創立80周年までの10年間の教育研究の向上に資する事業を実施すべく計画を立てております。

ついては，多くの役職員の皆様から募金にご協力いただいているところではございますが，創立70周年記念事業を成功させるため，更なるご支援を賜りますよう，何卒よろしくお願い申し上げます。

なお，創立70周年記念事業のホームページでは，クレジットカードによる寄附も可能でございますので，ご活用いただければ幸いと存じます。



【弘前大学創立70周年記念ロゴマーク】

【創立70周年記念事業ホームページ】 <https://www.hirosaki-u.ac.jp/70th.html>

○70周年のロゴマークを使用したパソコンの壁紙を作成しました。

右記URLからご覧いただけます。 <https://www.hirosaki-u.ac.jp/36723.html>

国立大学協会情報誌「国立大学」について

本学会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では，各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「国立大学」を作成しています。

「国立大学第52号」では，「発見！国立大学」において，内閣府「日本オープンイノベーション大賞」を受賞した弘前大学C O Iの取り組みが紹介されています。ぜひご覧ください。

（本学関連記事掲載）最新号「国立大学第52号」

<https://www.janu.jp/report/koho/52gou.html>

下記URLより最新号を含め，今まで発行されたバックナンバーをご覧いただけます。

<https://www.janu.jp/report/>

その他，第45号・第43号・第39号・第36号・第31号・第28号等において，本学記事が掲載されていますのでご覧ください。

編集担当から：講演会，研究発表会，部局行事等の掲載原稿を発行予定日（毎月1日と16日の2回）の7日程度前までに，下記担当にご提供ください。お待ちしております。

◎担当：総務部総務広報課 広報グループ

E-mail: jm3012@hirosaki-u.ac.jp FAX:37-6594 内線：3029